

安全データシート SDS

1.化学物質等及び会社情報

製品

製品の名称 品番 シリコンふきとれーる SFT-100

供給者情報

会社名 ジェフコム株式会社
 住所 〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16
 担当部署 品質課
 電話番号 072-988-3813
 FAX番号 072-988-3800
 推奨用途 アスファルト、屋根用タール、道路用タール グリース 油、
 まだ乾いていない油性ラッカー、塗料、ステイン、接着剤、
 コーキング、マスティック、液体発泡断熱材、シリコーン
 シール剤、水シールその他同様の製品の除去

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4 H227
	自然発火性液体	区分外
	自己発燃性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	区分外

健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2B
	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(吸入)	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分外	
	吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(長期間)	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

注意喚起語 警告

危険有害性情報 眼刺激

注意書き
安全対策

- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと
- ・涼しい所に置くこと
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること

応急処置

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと
- ・皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類すべて脱ぎ又
取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で
休息させること
- ・眼に入った場合、水で少なくとも15分間注意深く洗うこと。次に
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- ・気分が悪い時ば 医師に連絡すること
- ・気分が悪い時は 医師の手当、診断を受けること
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当てを受けること
- ・眼の刺激が続く場合場合は医師の診断・手当てを受けること

保管

- ・容器を密閉して換気の 良い場所で保管すること。
- ・換気の良い冷所で保管すること。

3.組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
危険な原材料	危険な原材料は含まず

4.応急処置

吸入した場合	・空気の新鮮な場所に移すこと。刺激が続く場合は、医師に連絡すること。
皮膚への接触	・直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。刺激が続く場合は、医師に連絡すること。
眼との接触	・水で少なくとも15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。刺激が続く場合は、医師に連絡すること。
経口摂取	・無理に吐かせないこと。肺に入ると化学的肺炎を起こすことがある

5.火災時の措置

適切な消火剤	油火災として扱う。二酸化炭素または乾燥した化学的泡消火剤。
特殊危険物質または混合物から生じる	有機材料と同様、燃焼は二酸化炭素や一酸化炭素を生成する
消防士のための助言	燃焼している液体が広がる可能性がある為散水を使しないこと
保護装置	消防士は適切な保護具と自給式呼吸器(SCBA)及びフルフェイスマスクを加圧モードで着用する

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置	必須ではない
環境に対する予防事項	必要な特別措置なし
除去方法	吸着剤(砂、珪藻土、酸バイダンー、一般的なバインダー、おがくず)で吸着する
他の項目の参照	安全な取扱いについては7、項目を参照 個人的な保護装置については、8 項目を参照 廃棄については13 項目を参照

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意	必要な特別措置なし 2項目を参照 長時間の皮膚接触を避ける使用後、影響を受けた皮膚を洗う
安全な保管条件	乾燥した換気の 良い冷所で保管

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	追加のデータなし。7項目を参照
管理濃度・許容濃度	設定する必要なし
個人用保護具	化学物質を処理するため通常の予防措置に従うこと
呼吸装置	噴霧の吸入を避ける
手の保護具	長時間の暴露に備えて手袋を推す奨る
手袋の材質	化学物質に対応する手袋
眼の保護具	跳ね返りの可能性があるので保護眼鏡を推奨する

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	淡黄色の色
臭い	わずかなシトラスの臭
pH	情報無し
沸点	情報無し
引火点	70.55 °C (159° F) (PMCC, ASTM D-93)
自然発火温度	自然発火はしない
爆発の危険性	情報無し
燃焼の限界	
下限	情報無し
上限	情報無し
蒸気圧	情報無し
11ガロンの重量	7.020ポンド/1ガロン
比重	.8412
20°C (68°F) 蒸気濃度	(空気 = 1) > 1
蒸発率	(BuAc = 1) > 1
水溶解性	水に混和する
その他のデータ	情報無し

10. 安定性及び反応性

反応性	情報無し
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	反応性なし。
避けるべき条件	熱や発火源から離す
混触危険物質	強力な酸化剤、酸とアルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	
皮膚刺激性	軽度
眼刺激性	軽度
感作性	情報無し
追加の毒性学情報	仕様に従って使用されれば製品は過去の経験、又提供された情報では有害な影響はなし
発がん性のカテゴリ	
IARC (国際がん研究機関)	全成分が有害リストに記載されていない
NTP (米国国家毒性プログラム)	全成分が有害リストに記載されていない
OSHA - Ca (米国労働安全衛生局)	全成分が有害リストに記載されていない

12.環境影響情報

2 項目を参照

毒性	
水性環境毒性	追加情報なし
滞留性・分解性	追加情報なし
環境システム内の動き	
生態蓄積性	追加情報なし
土壤中の移動性	追加情報なし
追加生態上の情報	
生分解性	
PBT 及び vPvB 評価の結果	
PBT	該当しない
vPv B	該当しない
その他の有害情報	追加情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14.輸送上の注意

国際規制	航空輸送はIATA 及び海上輸送は IMDGの 規則に従う。
国連番号	該当しない
DOT 、ADN、I MDG 、IATA	規制されていない
国連正式品名	規制されていない
DOT 、ADN、I MDG 、IATA	規制されていない
輸送の危険性クラス	規制されていない
DOT 、ADN、I MDG 、IATA	規制されていない
梱包グループ	規制されていない
OT 、ADN、I MDG 、IATA	規制されていない
環境の危険性	
海洋汚染物質	なし
ユーザーに対する特別な注意	該当しない
MAR POL73/ 78の附属書 I) 及びIBCコードに従ってのバルク輸	該当しない
国内規制	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う

輸送の特定の安全対策及び条件 漏出時の処置:漏出時の措置”の項を参照
 取り扱い及び保管上の注意 ”の項を参照

容器の破損、漏れがないことを確かめる
 荷ぐずれ防止を確実に 行う
 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。火気注意。

15.適用法令

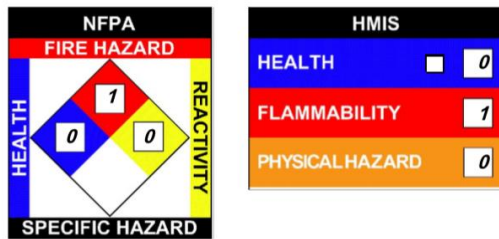
国内適用法

化学物質排出 把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
火薬類取締法	該当しない
高压ガス保安法	該当しない
消防法	法第2条第7項危険物別表第1第4類引火性液体、 第3石油類非水溶性液体(2000L)、危険等級Ⅲ。 特定・監視・優先評価化学物質に該当しない
化審法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16.その他の情報

分類体系

NFPA レーティング(0 - 4) HMIS レーティング(0 - 4)



他の危険性

PBT及びvPvB評価結果	
PBT	該当しない
vPvB	該当しない

本データシートは当該製品の一般的な取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行ってください。本データシートは保障値ではありません。